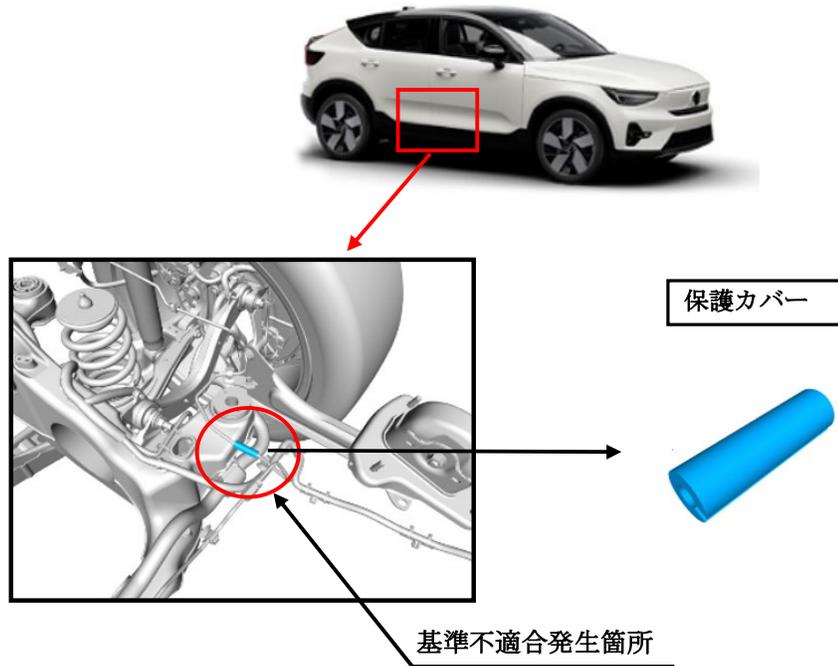


改善箇所説明図



車両ハーネスカバーにおいて、配線設計が不適切なため、左リアブレーキパイプとのクリアランスが不十分な状態で組付けられている。そのため、走行中の振動等により、車両ハーネスカバーとブレーキパイプが接触してブレーキパイプに施している錆止め塗料が摩擦により剥離することがある。そのまま使用を続けると、ブレーキパイプが腐食してブレーキフルードが漏れることにより、制動力が低下し警告灯が点灯するおそれがある。

改善の内容

全車両、左リアブレーキパイプが車両ハーネスと接触する可能性のある部分に保護カバーを取り付ける。

識別

運転者席側ドアアヒンジ取り付けボルト（上側）の頭に白ペンを塗布する。

注： は処置をする部品を示す。